

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2020年10月6日

商工中金



地域金融機関と協調し、仙台工業団地協同組合様の大規模集団移転を金融面からサポート

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業組合や中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、関係機関と連携を取りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（仙台支店）は、七十七銀行、仙台銀行、山形銀行、東邦銀行、杜の都信用金庫、宮城第一信用金庫と協調し、「仙台市六丁の目元町・六丁目土地区画整理組合」様（代表者：佐藤 智孝様）に対して、仙台工業団地の集団移転に必要な資金枠 110 億円のうち、35 億円を開設しました。今後、事業完成までの 6 年間、必要な時期に合わせて、地域金融機関と連携して融資をしていきます。

仙台工業団地協同組合様（以下、同組合。所在地：宮城県仙台市、代表者：梶原 功様）は 1962 年に設立された団地組合で、機械器具や金属製品などの製造業者 19 社で構成されています。

今回、同組合は、建物の老朽化に加え、地下鉄東西線の開通に伴う周辺地域の宅地化や商業地化により、組合員の操業に支障が出ていることから、工業団地の集団移転を計画しました。2008 年に移転準備委員会を組成、リーマンショックや東日本大震災の被災を受けながらも準備を進め、高速道路のインターチェンジに近く、ものづくりに集中できるエリアに移転します。なお、当該区画整理組合は、同組合の移転に伴う跡地と移転先の開発を担います。

商工中金は、同組合の取り組みが、組合員の工場操業を安定かつ持続可能とするだけでなく、組合跡地の有効活用が仙台市の魅力ある街作りに貢献するものと考え、長年にわたり移転事業をサポートしてきました。同区画整理組合に対しては、地域金融機関と協調して無担保無保証で資金枠を設定するなど、今後も事業完了まで長期間にわたるプロジェクトの円滑な進行をサポートしていきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業組合や中小企業の皆さまの「SDGs（持続可能な開発目標）」に貢献する取り組みを積極的にサポートしてまいります。

【仙台市六丁の目元町・六丁目土地区画整理事業の概要】

事業年度	令和2年度～令和7年度	面積	16.63ha
総事業費	115億3,000万円	業務代行者	西松建設株式会社

【仙台工業団地協同組合様の概要】

所在地	宮城県仙台市若林区六丁の目元町9-25	出資金	3,300万円
代表者	梶原 功様	組合員数	19名（2020年7月現在）
業種	機械器具製造、金属加工等の団地組合	設立	1962年5月